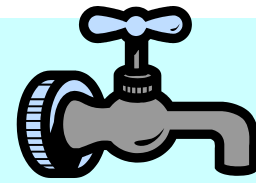


2. 災害時における避難所の在り方について



① 災害時における避難所の給排水について

災害時に避難所となる小学校などは、施設そのものについては耐震補強が完了しており、おおきな地震があった際にも市民の皆様はそこへ避難でき、避難所生活で必須のライフラインの確保については、全ての小学校付近には地下式給水管が設置されています。そこへ至る水道本管も耐震化が全て完了しているそうです。しかし、道路の水道本管と小学校の校舎や体育館とを結ぶ給水管の耐震化は小学校 262 校中 9 校、中学校 110 校中 4 校以外は耐震工事が施工されていません。

今回の東日本大震災や先の阪神淡路大震災の例を見ますと、避難所の機能は、ただ避難された方々が入所することだけを役割としているだけでなく、災害発生直後から、避難された方々にとって避難所は日々の生活の場所となります。普段の生活の中で何度となく使用している水道やトイレなどの設備がもし使えない状態となるならば、どれほど不便で不自由な生活を強いられることになるか、強く訴えました！



ちなみに・・・小学校 1 校当たりのトイレは平均 19 箇所、男子用 65 個、女子用 45 個、さらに蛇口については 450 箇所あるそうです！

①. についての回答。

河村市長より、大至急検討したいとの回答をいただきました！



② 福祉避難所について

福祉避難所は、小学校区に 1 か所程度設置するとの目安になっていますが、本市においては全市で約 1 割程度の 31 ヶ所しか設置されていません。

こうした実態を解消するため、全ての小中学校や高校の空き教室を積極的に利用するなど、バリアフリー工事を行うなど、災害時要援護者に対して十分に配慮した体制をとり、学校内での洋式トイレの拡充、ベッドや車椅子などの福祉用具について、福祉避難所に指定された学校に備蓄困難ならば、関連企業などと災害協定を結んでおくなど、いざというときに臨機応変に対応できる体制を構築しておくべきであると訴えました！

②. についての回答。

議員ご提案のように、「地域における身近な社会福祉避難所」として、小学校などの避難所の一定の空間を利用することは、災害時要援護者の安定した避難生活の確保のため、有効であると認識しているところでございますが、トイレの洋式化やバリアフリー等の施設設備やさらには福祉用具の調達などの課題があることから、今後は全体感にたって検討してまいります。とのこと。

* 7 月度 *

大磯学区・区政協力委員会報告



平成 23 年 7 月 10 日
NEW KOMIITO 公明党 大磯学区顧問
名古屋市議員 福田誠治

H23 年度 6 月 議会 議会質問しました！

1. 中川運河の生命線である中川口閘門の津波対策について



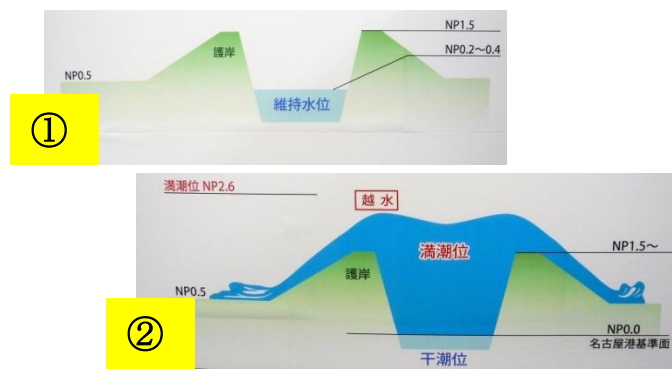
1. についての回答。

中川口閘門には、海側と運河側にそれぞれ前後に 2 門ずつ、計 4 門の鋼鉄製の扉があり、もっとも海岸側の扉は、防潮壁と同じく、想定東海・東南海連動地震の想定津波高さ NP3.9m を超える NP6m の高さを有しています。また、扉は一定の耐震性を有していると、名古屋港管理組合から聞いており、津波警報が発令された場合は、全ての扉を閉鎖することとなっております。

3 月 11 日の東日本大震災の時は、地震発生直後に 4 門の扉を目視点検しており、外観の以上及び漏水がないことを確認しております。また、その後、全ての扉を閉鎖し、動作を確認しております。

ご指摘のように、仮に中川運河を津波が遡上するようなことになれば、本市に甚大な被害が生じると懸念されます。中川運河沿岸地域の市民の方々を守るためには、中川口閘門が津波を防御する役割を果たすことが生命線であると認識しております。

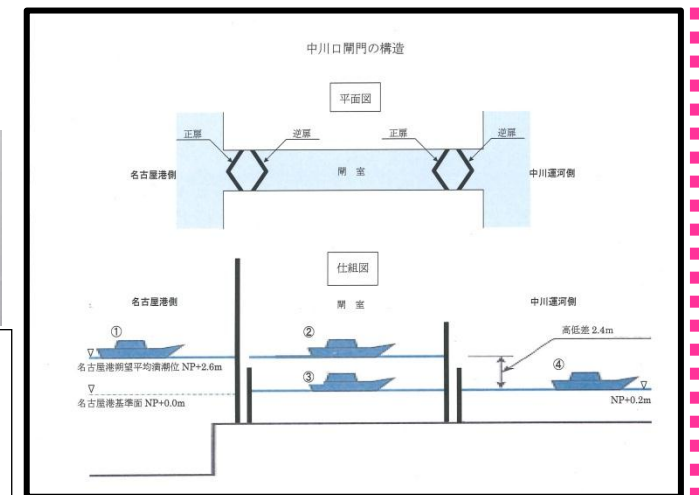
このため、扉の津波に対する耐波性能を改めて検証すべきと考えており、今回の東日本大震災を受け、名古屋港管理組合では、堀川口防潮水門の津波に対する耐波性の検証を行う予定であり、中川口閘門もこの調査結果を活用したうえで、必要な補強対策がなされるよう、名古屋港管理組合とともに名古屋市も一緒になって取り組んでまいります。とのこと。



上記の図①は中川運河の維持推移は常に NP0.2~0.4 m を示しています。

堤内地は、NP0.5~2.0m (河口付近~名古屋駅付近) で護岸の高さが NP1.5~2.0m 程度です。

図②は干潮高 (NP0.0=名古屋港基準面) を示しています。中川口閘門が壊れた場合の中川運河が干潮河川になるため、護岸を越す水位になる場合の間、海水が数時間越水の状態で流れます。



上記図の中川運河の閘門については、この図左側の船が、満潮時に閘門内に入船、閘門の水位を中川運河の水位に下げ、運河と同水位になったところで運河側に入船します。